

PARNASSIUS

No. 37

目 次

淡路島の蝶類採集録	菊池宏美.....	1
クロコノマチョウ採集例	竹田俊道.....	2
オオウスバカゲロウ採集例	竹田俊道.....	2
淡路島でヤエヤマムラサキとコムラサキを採集	菊池宏美.....	3
ビワの果汁を吸うアゲハチョウ	堀田久.....	3
淡路島に於けるクチキコオロギの新産地について	登日邦明.....	4
洲本市でのカイコの飼育記録	堀田久.....	6
イシガケチョウ目撃例	竹田俊道.....	7
ヨツボシトンボ五色町に多産	竹田俊道.....	8
洲本市安乎町でヒナカマキリを採集	堀田久.....	8

淡 路 昆 虫 研 究 会

ENTOMOLOGICAL ASSOCIATION OF AWAJI

HYOGO JAPAN

June 1991

淡路島の蝶類採集録

菊池宏美

1990年に淡路島で採集した蝶のうち、島内では未記録のもの、比較的数の少ないもの、また、同所同時に多数採集したものをここに記録します。

アゲハチョウ科 Papilionidae

1. キアゲハ *Papilio machaon hippocrates*
3 ♂ 2 ♀ 緑 感応寺山 12 viii 1990
2. ナガサキアゲハ *Papilio memnon*
1 ♂ 1 ♀ 洲本 宇原 19 viii 1990
3. カラスアゲハ *Papilio bianor*
3 ♂ 2 ♀ 三原 成相 26 viii 1990
4. ミヤマカラスアゲハ *Papilio maackiitutanus*
1 ♂ 三原 成相 26 viii 1990

シロチョウ科 Pieridae

5. スジグロシロチョウ *Pieris melete*
2 ♂ 3 ♀ 三原 成相 26 viii 1990

タテハチョウ科 Nymphalidae

6. ミドリヒョウモン *Argynnis paphia geisha*
3 ♂ 1 ♀ 洲本 宇原 19 viii 1990
7. メスグロヒョウモン *Damora sagana ilona*
3 ♂ 3 ♀ 緑 初尾 16 ix 1990
8. ヤエヤマムラサキ *Hypolimnas anomala truentus*
1 ♂ 洲本 宇原 11 viii 1990
9. コムラサキ *Apatura metis substituta*
1 ♂ 洲本 宇原 5 viii 1990
10. ゴマダラチョウ *Hestina japonica*
1 ♂ 洲本 宇原 14 vii. 1 ♂ 緑 鮎屋 12 viii 1990

ジャノメチョウ科 Satyridae

11. ジャノメチョウ *Minois dryas bipunctatus*
5 ♂ 2 ♀ 先山 14 vii 1990

12. クロコノマチヨウ *Melanitis phedima oitensis*
 5♂ 3♀ 洲本 宇原 25 VIII 1990
13. ウスイロコノマチヨウ *Melanitis leda*
 3♂ 3♀ 洲本 宇原 25 VIII 1990
 マダラチヨウ科 Danaidae
14. アサギマダラ *Parantica sita nipponica*
 20♂ 15♀ 諭鶴羽山 16 IX. 7♂ 6♀ 緑 感応寺山 14 X 1990
 テングチヨウ科 Libytheidae
15. テングチヨウ *Libythea celtis*
 15♂ 10♀ 諭鶴羽山 3 V 1990
 シジミチヨウ科 Lycaeni dae
16. ムラサキシジミ *Marayhura japonica*
 2♀ 諭鶴羽山 15 VII 1990
 セセリチヨウ科 Hesperidae
17. アオバセセリ *Chaospes benjaminii japonica*
 1♀ 洲本 鮎屋 19 VIII 1990

クロコノマチヨウ採集例

三原郡西淡町飯山においてクロコノマチヨウを2頭採集したので報告しておきます。

1990年9月15日 1♀

1990年10月28日 1♂

(竹田俊道)

オオウスバカゲロウ採集例

1990年6月3日、三原郡西淡町慶野松原において、オオウスバカゲロウの幼虫を採集・飼育していたところ、8月25日羽化に気付く。幼虫は、普通のアリジゴクのように噴火口状の穴は作らず、体色も白っぽく区別は容易である。

慶野松原においては珍しい種では無いが、確かな記録は見当たらないのでここに報告しておく。

(竹田俊道)

淡路島でヤエヤマムラサキとコムラサキを採集

菊池宏美

1990年に採集した蝶の中、島内では未記録の2種を採集したのでここに記録します。採集地は、いずれも洲本市の海岸より約6kmの山裾の小川と林のある所です。

1. コムラサキ *Aparatura metis substituta* Butler

1♂ 兵庫県洲本市宇原 5.VIII.1990

くぬぎの樹液にいたところを採集、近くに溜池があり柳の木があります。

当地では、他にゴマダラチョウ、ルリタテハ、ミドリヒョウモン、ツマグロヒョウモン、キタテハ、ヒメアカタテハ等のタテハチョウを採集しています。

2. ヤエヤマムラサキ *Hypolimnas anomala truentis* Fruhstorfer

1♂ 兵庫県洲本市宇原 11.VIII.1990

午後3時頃、小川を上流にゆるやかに飛ぶ蝶をネットインしたのが、ヤエヤマムラサキでした。

当地では、また、同時期にクロコノマチョウ多数、ウスイロコノマチョウを数匹採集しています。

標本は、堀田氏に確認いただき筆者が保管しています。



コムラサキ♂
(洲本市宇原産)



ヤエヤマムラサキ♂
(洲本市宇原産)

ビワの果汁を吸うアゲハチョウ

アゲハチョウ *Papilio xuthus* が、果汁を吸うことは極めて希なようであるが、筆者は、1990年7月10日に、洲本市安乎町北谷において、腐敗しかけたビワの果汁を吸っている本種を確認したので、報告しておきたい。

(堀田 久)

淡路島に於けるクチキコオロギの新産地について

登 日 邦 明

淡路島産のクチキコオロギ *Duolandreus coulonianus* については、これまで山崎俊道 (1973, 本誌 No.11), 堀田 久 (1978, 本誌 No.18), 山崎博道 (1981, 本誌 No.25) などにより付属島嶼の沼島を含め合計12カ所から分布が明らかにされており、その生息環境は総じてシイの古木が残存するような、いわゆる照葉樹林であった。

昨年、自然研の大草伸治氏の協力を得て各地の調査を実施した際、これまで知られていなかった本種の生息地を新たに3カ所見い出すことができたので記録しておきたい。

今回追加される生息地は、即知の本種の生息地からすればいずれも里山的要素の強いいわゆる雑木林であるので、引き続き同様の環境を広範囲に調査することにより、多くの生息地が確認できるものと思われる。

1. 東浦町白山

東浦町河内の白山神社の周辺とその背後に位置する雑木林の一角で、昨年の8月・10月にかけて多数の鳴き声を確認し1個体を採集した。雑木林はかつてはアカマツを主体とした林であったものが、アカマツが枯死し下層にあったウバメガシやカクレミノが生長したもので、従来から知られている本種の生息環境からすると適切とはいえないような林であるが、鳴き声から推定するところでは生息密度はかなり高そうである。

Shirayama 1 ♂, 30. VIII. 1990 (K. Tobi leg.)

2. 津名町大町畑

筆者宅の裏山 (屋敷林) で、10年余り以前から本種に似た鳴き声を時おり耳にしていたのだが、ヤマモモ、ウバメガシ、カクレミノなどを主体とした規模も決して大きくない林 (500m²程度) に本種が生息しているはずがないと思い今日に至ったが、昨年の8月23日に林に面した部屋の中で鳴き声がするので探したところ本種であることが確認できた。

また、この林での生息密度はそれほど高くないが、数100m離れた位置にある同様の植生の林を調査したところ、多数の鳴き声を確認でき、2個体を採集することができた。近辺ではこれまで山崎 (1981) により、約2km離れた高倉山より生息が確認されていた。

Omachi Hata, 1 ♂, 23. VIII. 1990 (K. Tobi leg.)

1 ♂, 1. IX. 1990 (S. Ohkusa leg.)

1 ♂, 1. IX. 1990 (K. Tobi leg.)

3. 西淡町お局塚

西淡町伊加利の通称護摩山 (alt. 235 m) の中腹に“お局塚”があるが、その境内に生える
 余り太くないシイの樹皮下から、大草氏が1個体を採集した。氏の話では鳴き声は多くな
 く、生息密度は余り高くはないとのことであった。植生も決して良好とはいえず、周辺はア
 カマツが枯死した後に遷移してきた林で、樹種も比較的単調である。

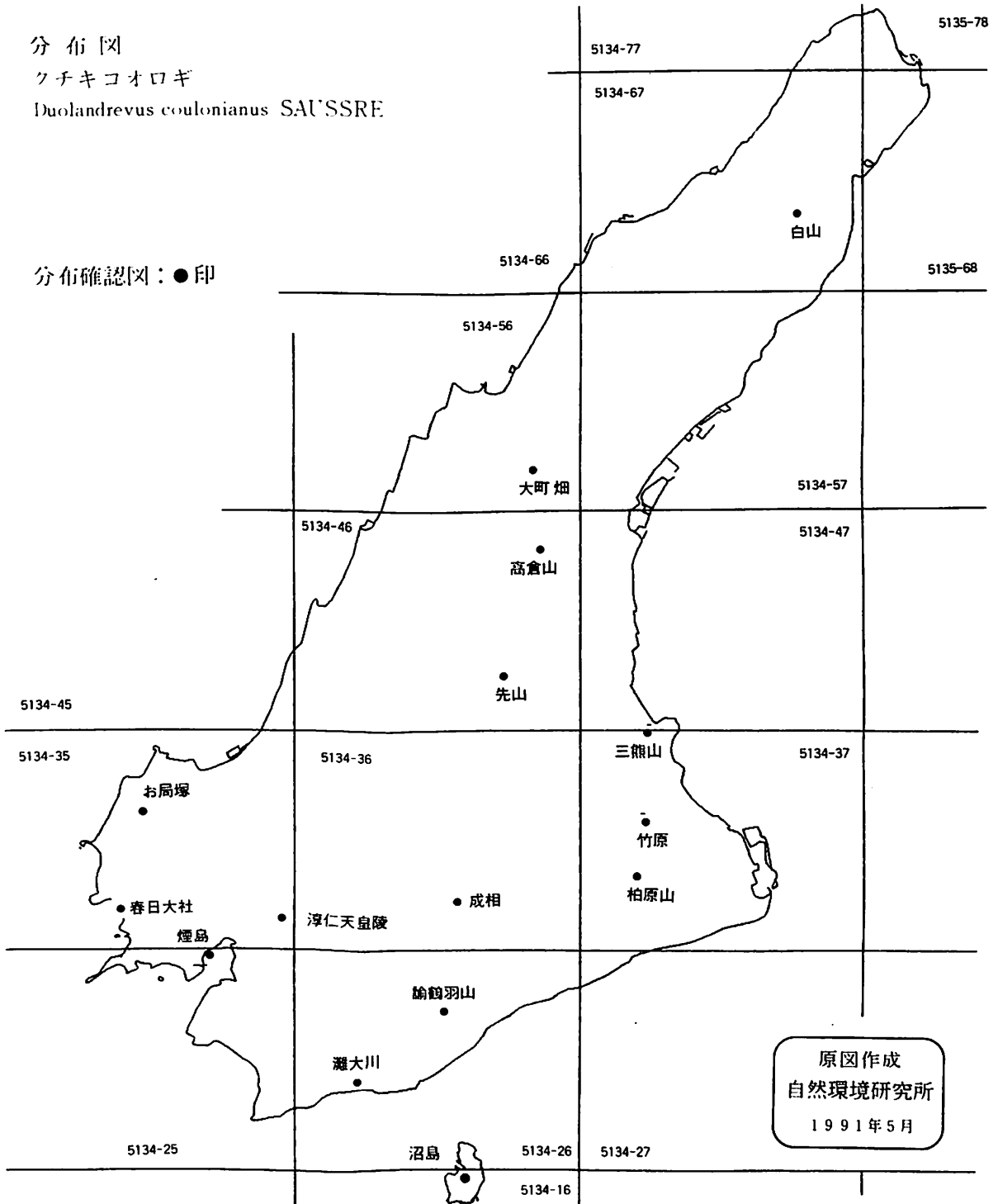
(Otsubonezuka (Ikari), 1 ♂, 29. VIII. 1990 (S. Ohkusa leg.)

分布図

クチキコオロギ

Duolandrevus coulonianus SAUSSRE

分布確認図：●印



洲本市でのカイコの飼育記録

堀 田 久

昭和10年代には淡路島でも養蚕農家が多く、筆者もカイコの幼虫を買って、何度か飼育した経験がある。現在小学校4年生の理科の教科書にはカイコが教材として出ており、家の裏にはクワの木の株が少しあるので、一度飼育してみたいものと思っていた。1989年7月に、本会の会員である藤富さんのお世話で、和田山の蚕業試験場より4齢幼虫を頂き、現在4世代目まで飼育しているので、これまでの結果をまとめてみた。

1989年7月18日 4 齢幼虫を入手する（7月6日ふ化）
7月21日 4 眠起（5 齢幼虫）
7月29日 まゆを作り始める
8月15日 羽化し交尾する
8月16日 産卵（18日まで続く）

なお、この卵は箱に入れて、納屋の中の直射日光が当たらない場所で保管した。

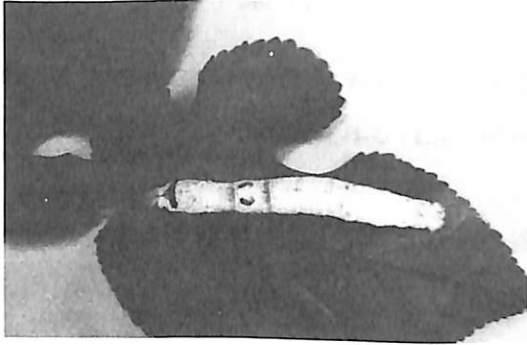
1990年4月17日 ふ化（1 齢幼虫）
4月28日 1 眠起（2 齢幼虫）
5月4日 2 眠起（3 齢幼虫）
5月10日 3 眠起（4 齢幼虫）
5月17日 4 眠起（5 齢幼虫）
5月28日 まゆを作り始める
6月15日 羽化し交尾する
6月16日 産卵
1990年6月25日 ふ化（1 齢幼虫）
6月29日 1 眠起（2 齢幼虫）
7月3日 2 眠起（3 齢幼虫）
7月7日 3 眠起（4 齢幼虫）
7月11日 4 眠起（5 齢幼虫）
7月18日 まゆを作り始める
8月2日 羽化し交尾する
8月3日 産卵

この卵は、1989年と同様にして保管した。

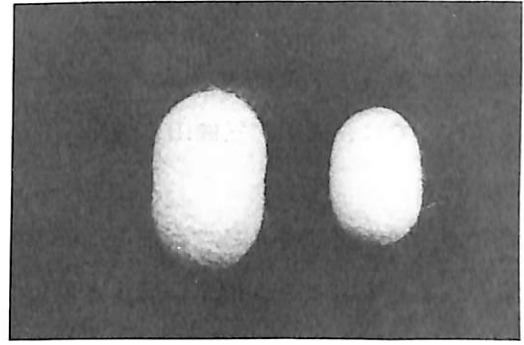
1991年4月19日	ふ化（1齢幼虫）
4月28日	1眠起（2齢幼虫）
5月6日	2眠起（3齢幼虫）
5月12日	3眠起（4齢幼虫）
5月20日	4眠起（5齢幼虫）
5月27日	まゆを作り始める
6月14日	羽化し交尾する
6月15日	産卵

これまでの飼育経過を和田山の場合と比較すると、洲本市では10日以上発生が早くなっている。これは主として温度の違いによるものと思われる。なお、ふ化日が同じであっても、成長には多少の遅速があったので、ここにあげたのは成長の早かったものの記録である。

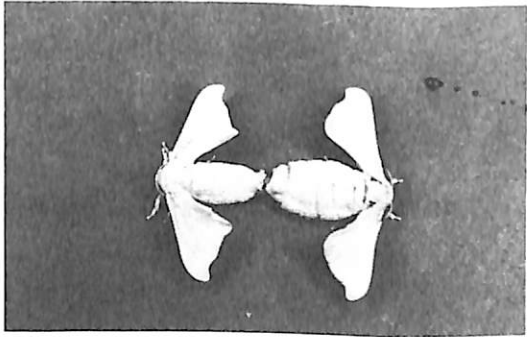
カイコの5齢幼虫



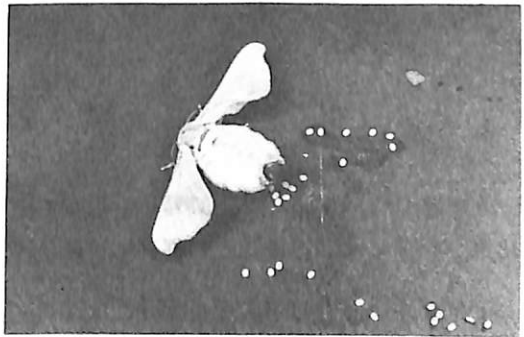
カイコのまゆ



交尾中のカイコ
(左が♂、右が♀)



産卵中のカイコ



イシガケチョウ目撃例

近年、各地でイシガケチョウが記録されているが、筆者の目撃例もここに報告しておきたい。

1989年10月27日 洲本市三熊山

1990年9月10日 西淡町飯山

(竹田俊道)

ヨツボシトンボ五色町に多産

ヨツボシトンボ (*Libellula quadrimaculata asahinai*) の記録はこれまでに、関西トンボ談話会の「近畿地方のトンボ」に東浦町馬場での目撃例等、他若干の報告例はあるが、希少種であると思われるので報告しておきたい。

1991年5月22日、五色市広石上の山中で、清水の流れる小川の一部が構成する浅い小さな池で、十数匹が群舞し交尾・産卵行動が見られた。

尚、同一場所でカトリヤンマ2頭も目撃したが、時期的にも早いと思われるので、併せて報告しておきたい。(成虫越冬の可能性も考えられるのでは)

(竹田 俊道)

洲本市安乎町でヒナカマキリを採集

ヒナカマキリ *Iridoptyx maculatus* は、極めて小形のカマキリで人目につきにくく、淡路ではこれまでに、先山、三熊山、煙島、常隆寺山から記録され、諭鶴羽山でも確認されていた。

筆者は、1990年11月8日に、洲本市安乎町北谷の筆者宅の室内で、本種を1頭採集したので報告しておく。なお、標本は筆者が保管している。

(堀田 久)

編集後記

- ▽ 大変遅くなりましたが、37号をお届けします。本号では、島内から未記録のチョウが2種記録されましたが、まことに喜ばしい限りです。
- ▽ 本年度内には、必ず38号を発行しますので、ふるって原稿をお寄せ下さい。

PARNASSIUS No. 37

1991年6月25日印刷 1991年6月30日発行
編集者 堀田 久 発行所 淡路昆虫研究会
〒656-21 兵庫県津名郡津名町大町畑235 登日方
郵便振替 神戸7-49591

印刷所 れいめい社
〒656 兵庫県洲本市本町5丁目1-24

